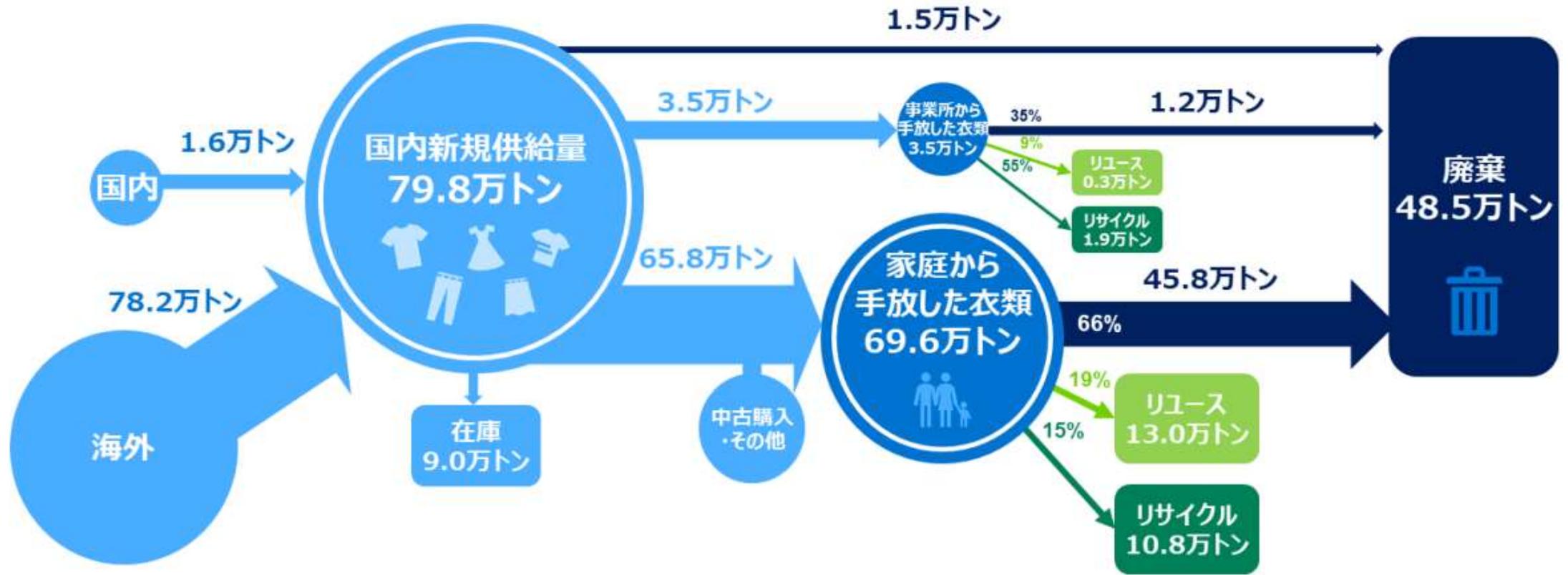


和光市との協働による衣料品の のリユース、リサイクルの推進

株式会社ルールメーカー
小西 和孝

2022年版 衣類のマテリアルフロー



出典：環境省「令和4年度循環型ファッションの推進方策に関する調査業務」（2023）

64.3%が廃棄に（47.0万トン/74.1万トン）

一般社団法人テキスタイル サーキュラー ネットワーク

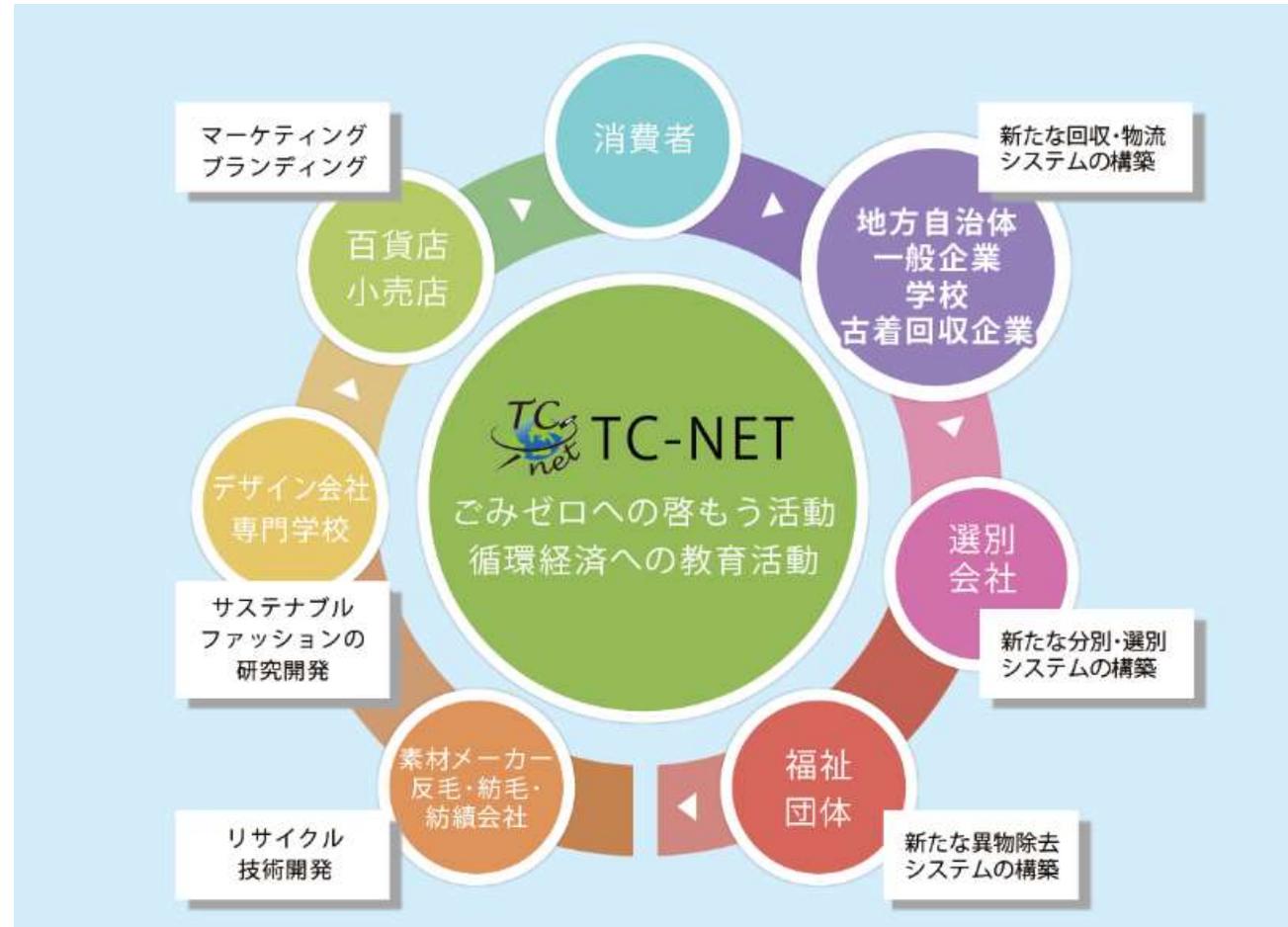
法人概要

名称	一般社団法人Textile Circular Network (テキスタイル サーキュラー ネットワーク)
所在地	〒595-0025 大阪府泉大津市旭町17番24号
設立	2022年4月1日
活動目標	繊維製品のリユース、リサイクルを促進する循環型ビジネスモデルを創造するための繊維製品の商品的価値、社会的価値の向上を図り、必要な素材化、製品化、商品化への提案に関する事業並びに新たなビジネスモデルの構築と事業化やそれに伴う雇用を創出することで地域経済、地域社会に貢献することを目的とする

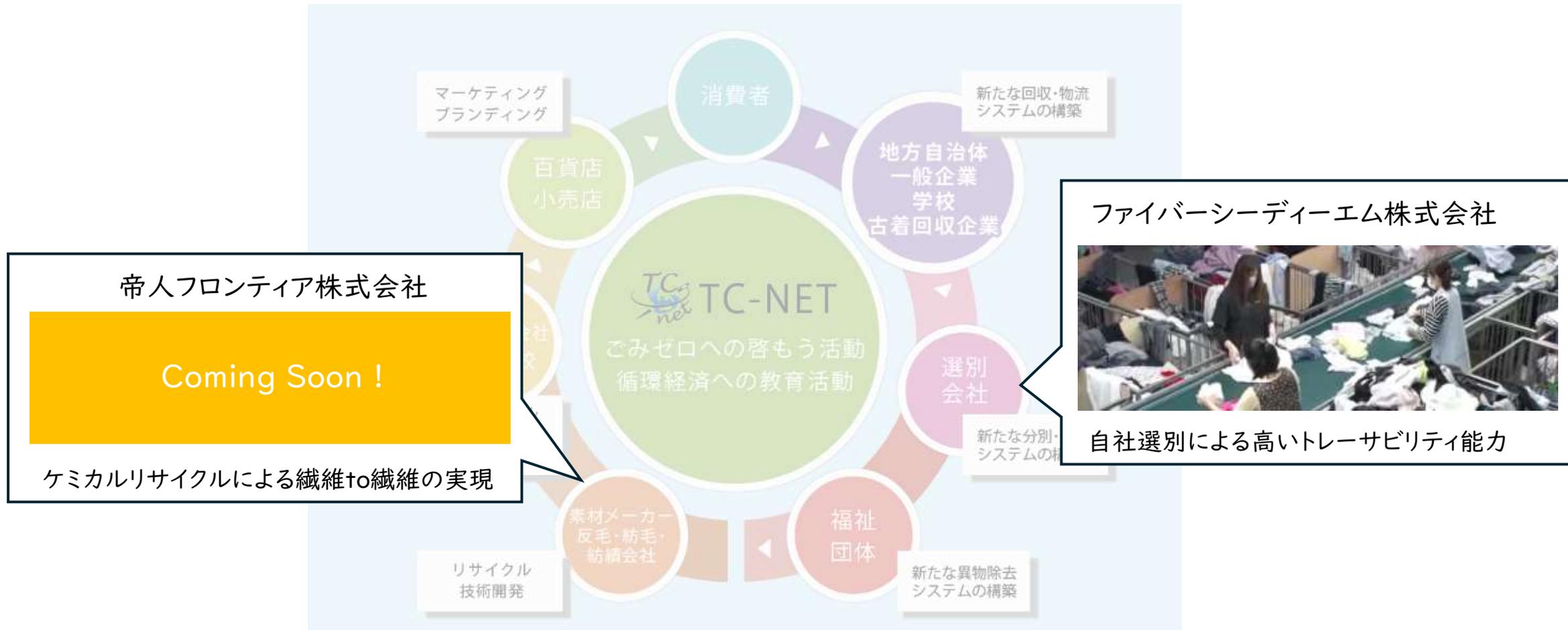
役員	理事長	木村 照夫【京都工芸繊維大学名誉教授 工学博士】
	副理事長	白谷 喜世彦【大津毛織(株)代表取締役】
	副理事長	泉谷 康成【ファイバーシーディーエム(株)代表取締役】
	常務理事	小西 和孝【株式会社ルールメーカー代表取締役】
	理事	井上 真理【神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授 博士(学術)】
	理事	川西 佳慶【社会福祉法人泉大津みなと会 理事】
	理事	福田 新之助【学校法人上田安子服飾専門学校 副校長】

営業管掌(関東)

事業内容



2つのエンジン



2つのエンジン



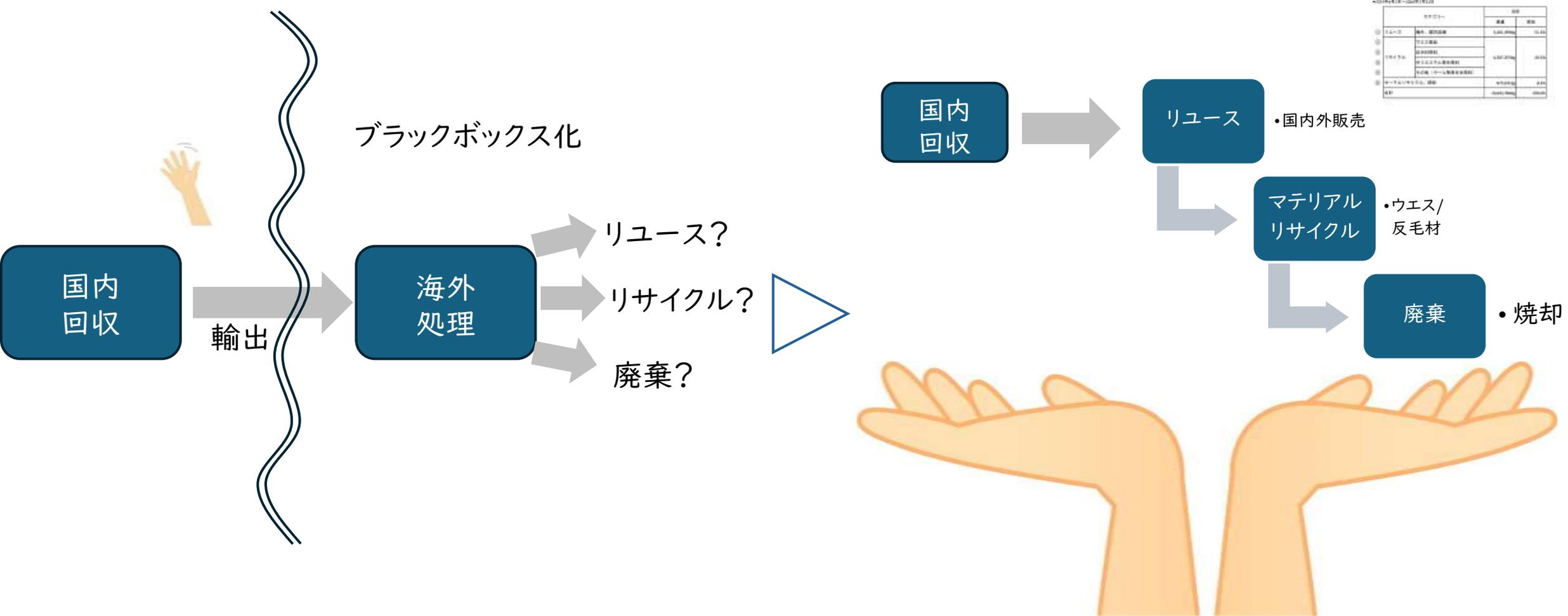
選別する力

2023年度実績

区分	品名	数量	単価
①	国内回収	1,234,567kg	18,000
②	海外処理	567,890kg	25,000
③	リユース	345,678kg	12,000
④	マテリアルリサイクル	234,567kg	15,000
⑤	廃棄	123,456kg	8,000
合計		2,506,158kg	

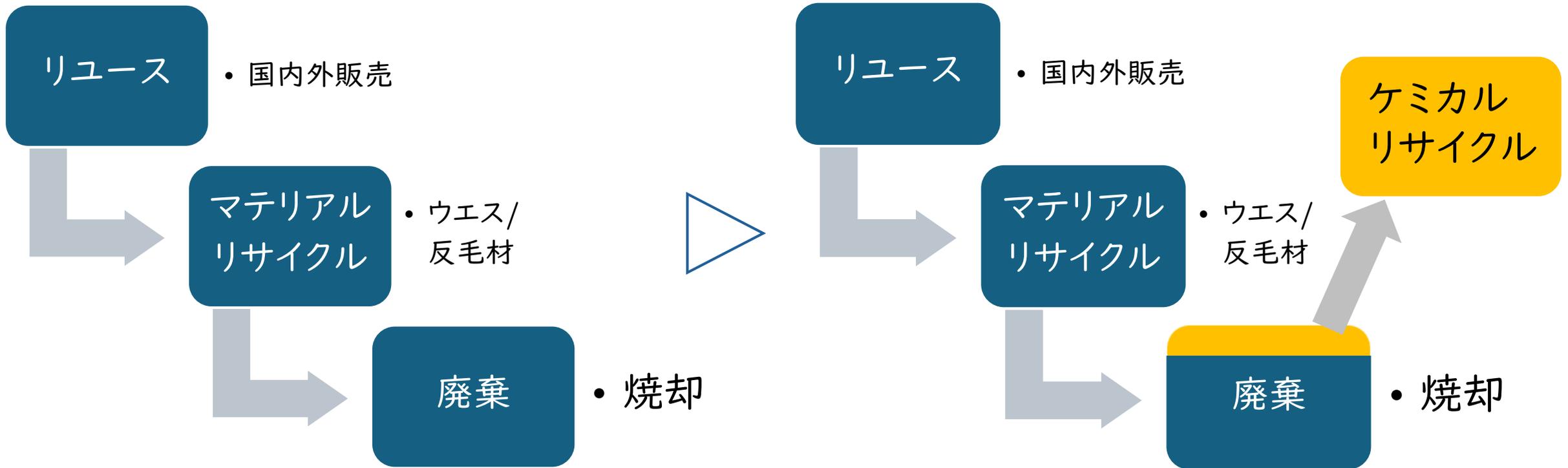
2024年度実績(推定)

区分	品名	数量	単価
①	国内回収	1,345,678kg	18,000
②	海外処理	678,901kg	25,000
③	リユース	456,789kg	12,000
④	マテリアルリサイクル	345,678kg	15,000
⑤	廃棄	134,567kg	8,000
合計		2,961,613kg	



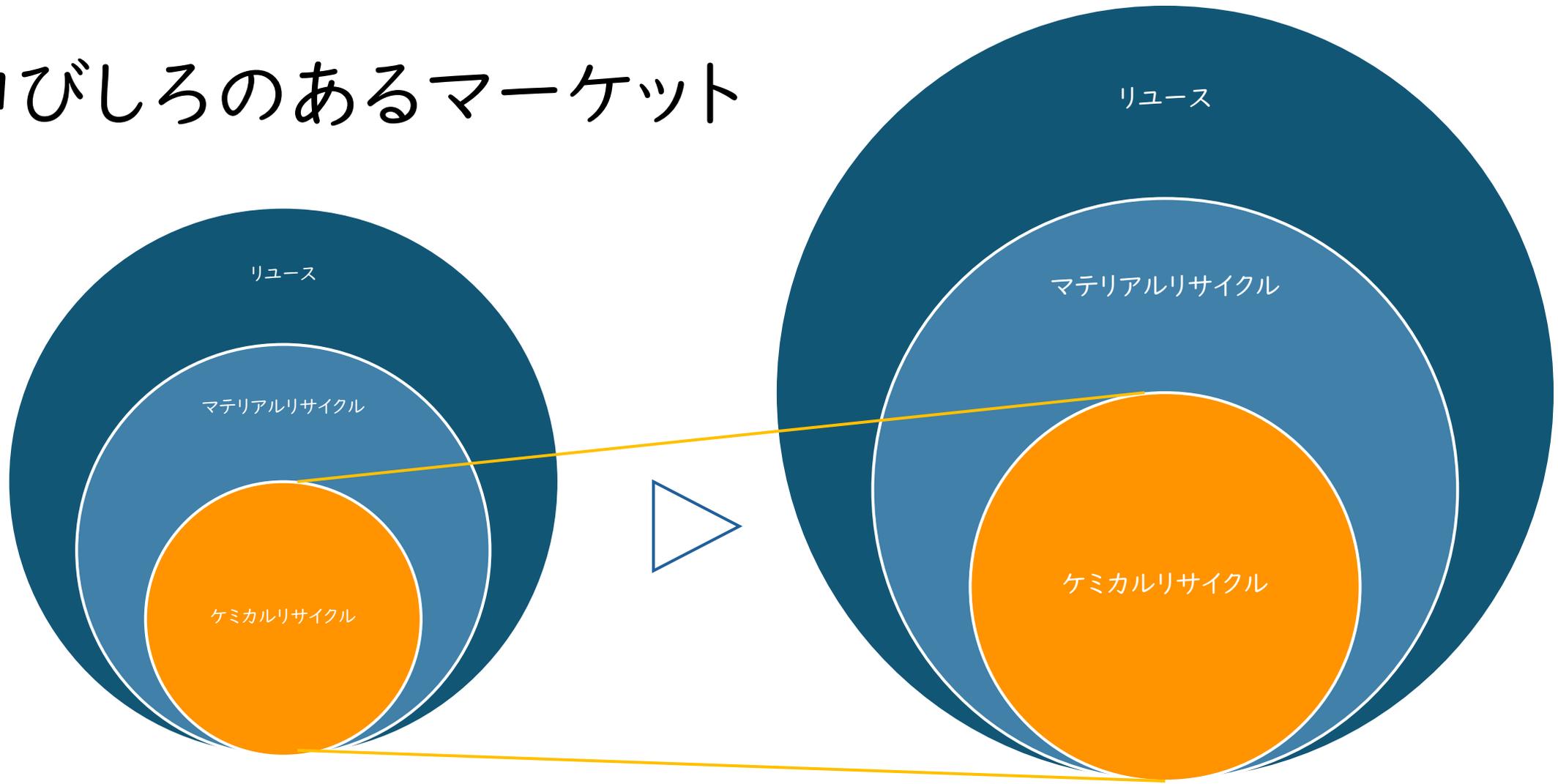
自社のコントロール下で選別!

繊維に戻す力



可燃ごみからケミカルリサイクル原料をサルベージ!

伸びしろのあるマーケット



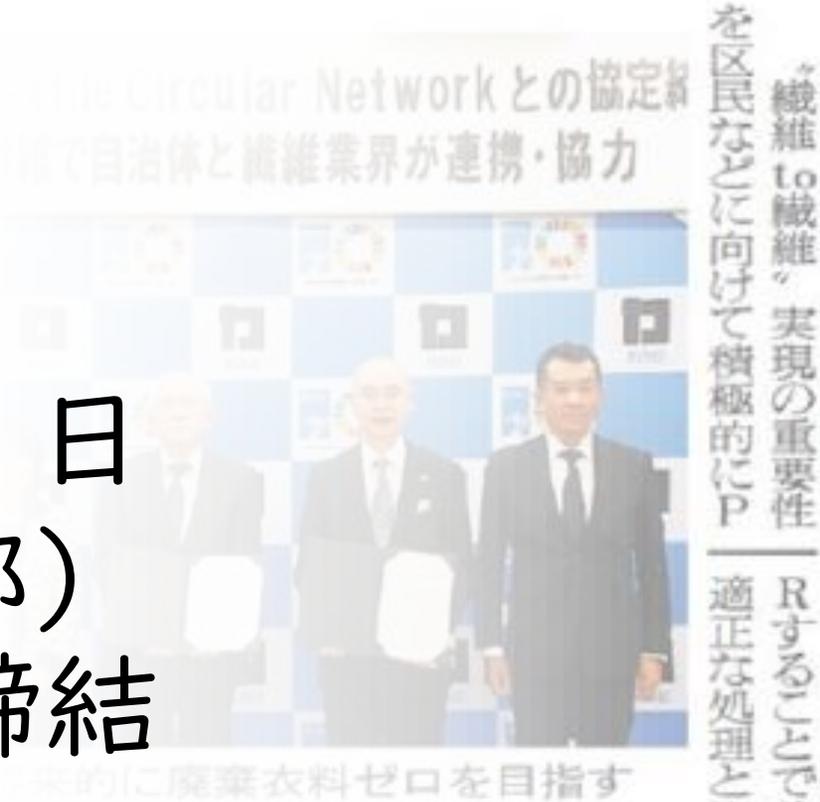
総量を増やすことで、ケミカルリサイクル (= 水平リサイクル) の原料を増やす

葛飾区、TCネット

繊維to繊維を推進 服を燃やさず資源

東京都葛飾区は、ごみとして捨てられている古着などを再び織する「繊維to繊維」を推進し、循環型社会の実現を目指す取り組み。株式会社、テキスタイル・サーキュラー・ネットワーク(TC)協力することで廃棄衣料の資源化を進め、「将来的に廃棄処分ゼロ」を目指す。

木克徳葛飾区長。



「繊維to繊維」実現の重要性
を区民などに向けて積極的にPR
Rすることによって普及させ、繊維の適正な処理と資源化率向上などを目指す協定を3月31日に結んだ。「一企業だけではなく、異業種を含めた様々な企業が加わり、一般社団法人と、繊維to繊維の実現に向けた協定を結ぶのは全国でも初め

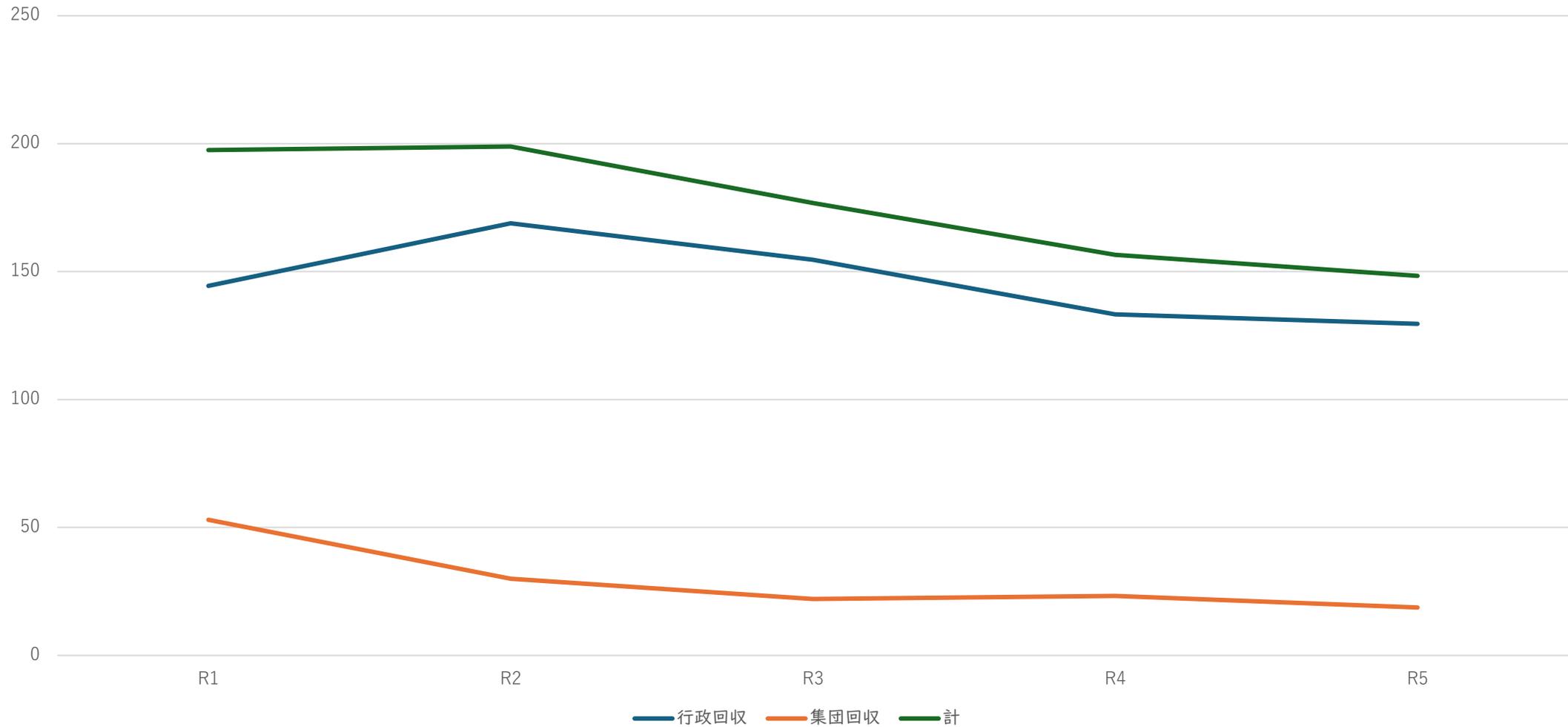
葛飾区がしている取り組み。一方でTCは、000社以上を擁するとして捨てられる衣料と推定する。マンション域での集約される衣料ETなどの衣料品をTCのTCネットに連携する

2023年3月31日 葛飾区(東京都) との連携協定締結

和光市の現状

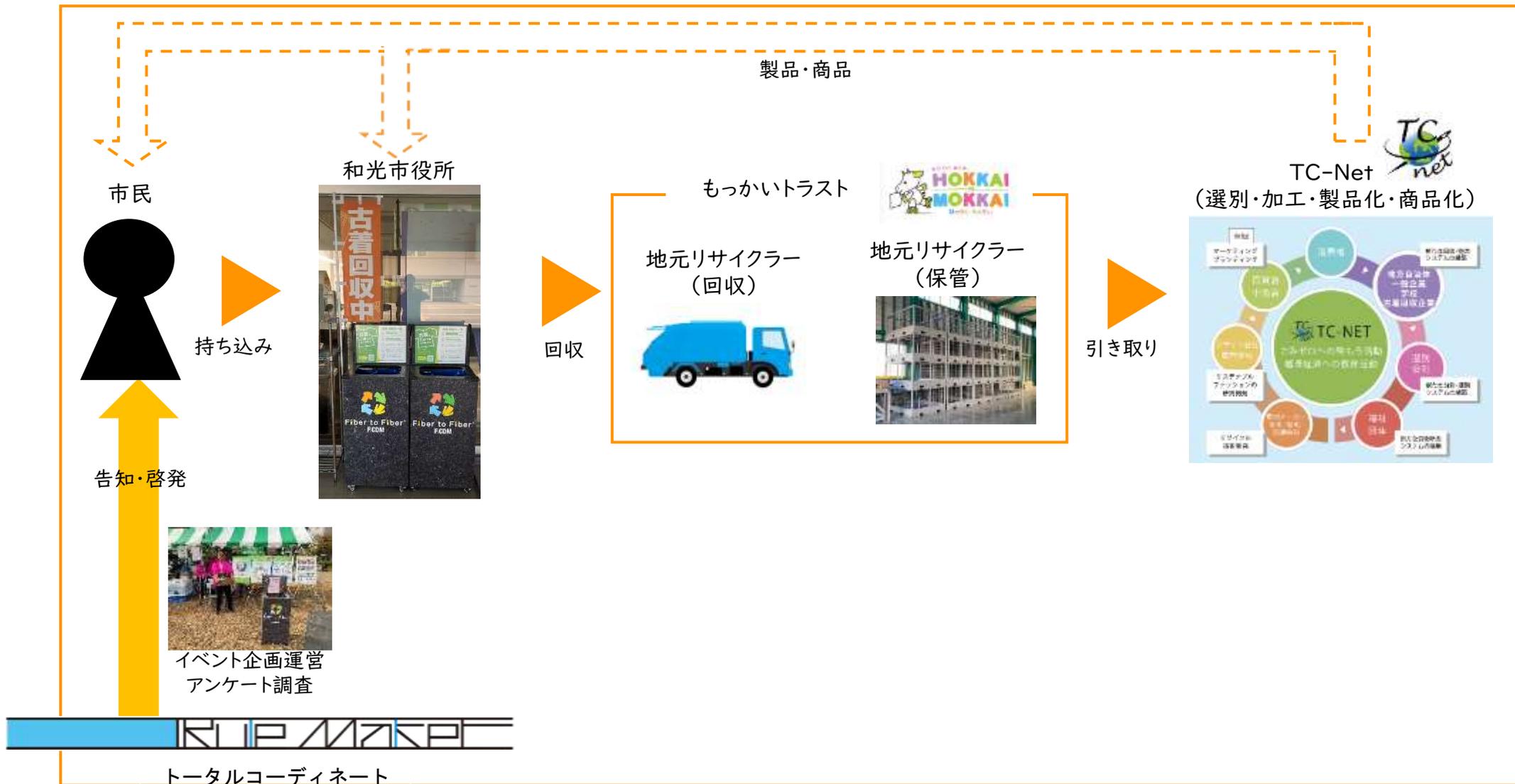
(†)

和光市の古着の回収実績

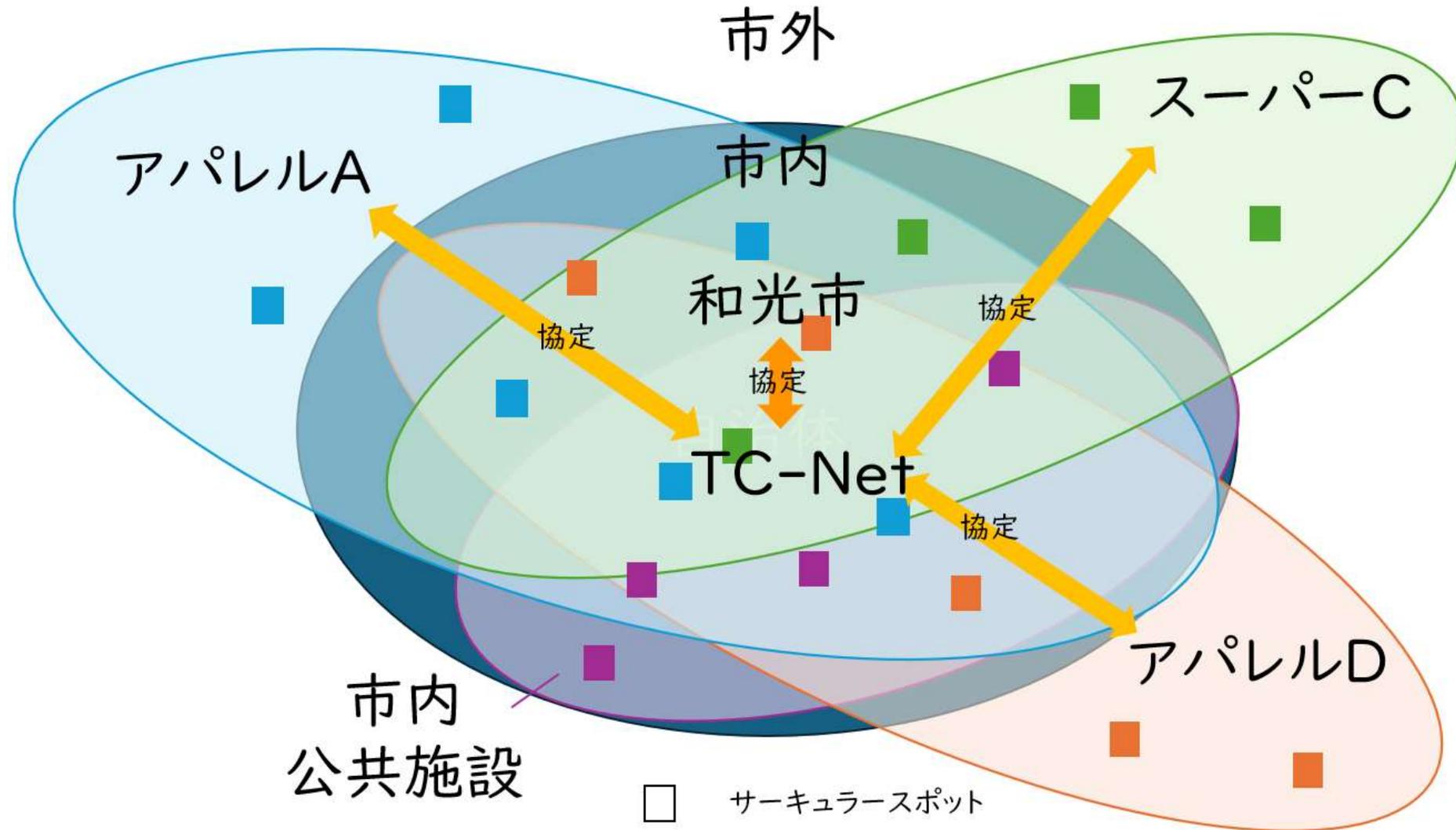


2024年7月1日 和光市（埼玉県） との連携協定締結

リユース・リサイクルフロー



民間企業を巻き込んだサーキュラースポットの増設



東京都令和5年度
革新的技術・ビジネス推進プロジェクト（調査・分析事業）

『繊維to繊維の水平リサイクル』

実施報告書

2024年3月

帝人フロンティア株式会社
ファイバーシーディエム株式会社

株式会社 **ルールメーカー**

4. 調査の結果

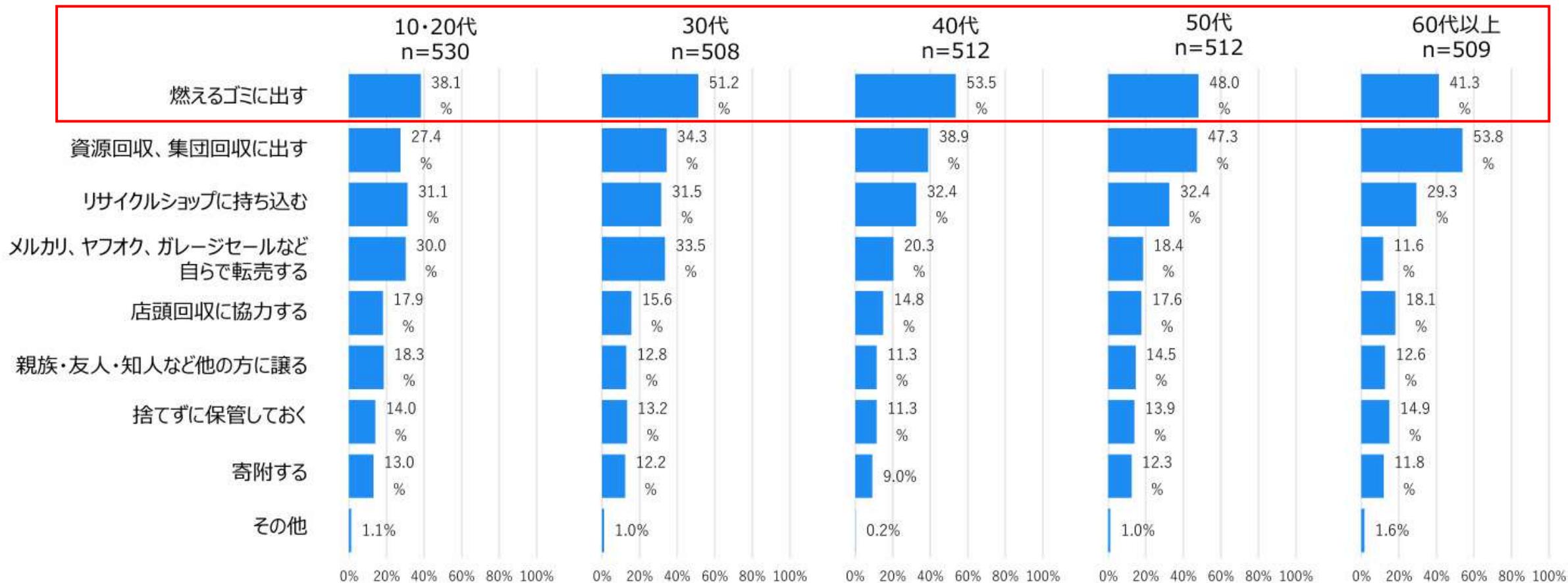
4.-1. 年代別回答結果

(4) 不要になった服をどうすべきか x 年代

Q10. 不要になった服は、どうすべき、どうしたらよいと考えますか。

※実際にご自身が実施されているかは問いません。"あるべき・そうすべき"と思われることをお答えください

※あてはまるものを全てお選びください



「燃えるゴミ」に出す割合が多い中、若年層では自ら転売する比率も高い、いっぽうで40代以上になると資源回収、集団回収に協力する傾向

2024年11月17日 和光市民まつりにて 古着回収(予定)



協定メニュー

1. 可燃ごみから衣料品の掘り起こし
2. 水平リサイクルとトレーサビリティ
3. 生活者への啓発活動

